

業 務 状 況 の 公 表

鹿屋市告示第258号

鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき
令和5年3月31日現在の鹿屋市水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和5年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和4年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和5年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

令和4年度 鹿屋市水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、「鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）」の評価結果を踏まえ、ビジョンで掲げる基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づく事業を計画的に推進するため、漏水の原因となる老朽管及び耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等の更新や、漏水調査の実施、水管橋の損傷等の点検調査を行うなど、施設の健全化及び市民への安定的な水の供給に努めた。

また、コロナ禍において原油価格や物価高騰等の影響を受けた市民や事業者の負担軽減を図るため、水道料金の基本料金について令和4年6～7月通常分、令和4年8～9月通常分、令和4年10～11月通常分及び令和4年7月精算分～令和4年12月精算分の合計152,191件、173,106,615円を免除した。

2 業務量

区 分 \ 年 度 別	令和4年度 下 半 期	令和4年度 上 半 期	増 減	令和4年度末 現 在
給水区域内人口（A）（人）	96,573	97,803	△ 1,230	96,573
現在給水人口（B）（人）	95,056	96,184	△ 1,128	95,056
現在給水戸数（戸）	48,109	48,402	△ 293	48,109
普及率 — $\frac{(B)}{(A)} \times 100(\%)$	98.43	98.34	0.09	98.43
年間総配水量（ m^3 ）	6,484,378	6,233,882	250,496	12,718,260
年間有収水量（ m^3 ）	5,059,846	5,227,320	△ 167,474	10,287,166
有収率（ $\%$ ）	78.03	83.85	△ 5.82	80.89

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
収 入	水道事業収益	1,825,041,000	1,061,641,256	760,223,914	1,821,865,170	△ 3,175,830
	営 業 収 益	1,551,859,000	786,983,864	753,042,766	1,540,026,630	△ 11,832,370
	営業外収益	241,171,000	241,997,114	7,181,148	249,178,262	8,007,262
	特 別 利 益	32,011,000	32,660,278	0	32,660,278	649,278
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
支 出	水道事業費用	1,653,702,000	1,043,683,274	513,355,523	1,557,038,797	96,663,203
	営 業 費 用	1,524,448,000	955,066,802	493,781,285	1,448,848,087	75,599,913
	営業外費用	86,444,000	61,782,246	19,570,096	81,352,342	5,091,658
	特 別 損 失	27,950,000	26,834,226	4,142	26,838,368	1,111,632
	予 備 費	14,860,000	0	0	0	14,860,000

(2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
収 入	資 本 的 収 入	32,904,000	16,312,994	16,880,000	33,192,994	288,994
	負 担 金	21,600,000	4,911,000	16,880,000	21,791,000	191,000
	補 助 金	826,000	680,000	0	680,000	△ 146,000
	固 定 資 産 売 却 代 金	10,000	253,410	0	253,410	243,410
	出 資 金	10,468,000	10,468,584	0	10,468,584	584
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
支 出	資 本 的 支 出	972,753,000	241,876,890	663,813,327	905,690,217	67,062,783
	建設改良費	794,116,000	152,030,908	575,022,395	727,053,303	67,062,697
	企 業 債 償 還 金	178,637,000	89,845,982	88,790,932	178,636,914	86

4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還額	上半期償還額	本年度末残高
2,034,015,257	0	89,845,982	88,790,932	1,855,378,343

5 令和4年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況 (消費税抜)

(令和5年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1 固 定 資 産			
(1)有形固定資産			
イ 土 地	632,278,114		
減損損失累計額	△ 14,543,133	617,734,981	
ロ 建 物	1,382,906,319		
減価償却累計額	△ 529,764,459		
減損損失累計額	△ 5,610,265	847,531,595	
ハ 構 築 物	23,523,624,534		
減価償却累計額	△ 12,948,882,540		
減損損失累計額	△ 29,315,998	10,545,425,996	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,481,726,327		
減価償却累計額	△ 1,635,609,022		
減損損失累計額	△ 8,985,864	837,131,441	
ホ 車 両 運 搬 具	47,544,474		
減価償却累計額	△ 31,361,499	16,182,975	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	193,638,040		
減価償却累計額	△ 72,654,847	120,983,193	
ト 建 設 仮 勘 定		131,547,296	
有形固定資産合計		13,116,537,477	
(2)無形固定資産			
イ 電 話 加 入 権		723,751	
ロ 施 設 利 用 権		165,228	
無形固定資産合計		888,979	
(3)投資その他の資産			
イ 投 資 有 価 証 券		100,000	
投資その他の資産合計		100,000	
固 定 資 産 合 計			13,117,526,456
2 流 動 資 産			
(1)現 金 預 金		2,984,916,095	
(2)未 収 金	348,592,044		
未収金貸倒引当金	△ 4,912,704	343,679,340	
(3)貯 蔵 品		9,814,065	
(4)そ の 他 流 動 資 産		1,100,000	
流 動 資 産 合 計			3,339,509,500
資 産 合 計			16,457,035,956

負 債 の 部

(単位：円)

3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費財源に充てる た め の 企 業 債	1,685,927,709		
(2)	引 当 金			
イ	退職給付引当金	251,655,000		
	固 定 負 債 合 計			1,937,582,709
4	流 動 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費財源に充てる た め の 企 業 債	169,450,634		
(2)	未 払 金	61,529,345		
(3)	引 当 金			
イ	賞与引当金	17,023,333		
ロ	法定福利費引当金	3,502,909		
	引 当 金 合 計		20,526,242	
(4)	その他流動負債	5,361,774		
	流 動 負 債 合 計			256,867,995
5	繰 延 収 益			
(1)	長 期 前 受 金	2,035,181,896		
(2)	長期前受金収益化累計額	△ 1,389,487,751		
	繰 延 収 益 合 計			645,694,145
	負 債 合 計			2,840,144,849

資 本 の 部

6	資 本 金			12,920,169,900
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
イ	受贈財産評価額	71,601,523		
ロ	工 事 負 担 金	99,108,231		
ハ	補 助 金	6,999,834		
	資 本 剰 余 金 合 計		177,709,588	
(2)	利 益 剰 余 金			
イ	当年度未処分利益剰余金	519,011,619		
	利 益 剰 余 金 合 計		519,011,619	
	剰 余 金 合 計			696,721,207
	資 本 合 計			13,616,891,107
	負 債 資 本 合 計			16,457,035,956

6 令和5年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

本市の水道事業を取り巻く環境は、人口減少により給水収益が今後減少傾向にある。また、施設の老朽化に伴う更新費用の増大が見込まれており、「経営基盤の強化」が課題となっている。

このような認識のもと、令和4年度に実施した鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）の評価結果を踏まえ、基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づいた事業を推進するための予算を基本とする。

(2) 業務の予定量

① 給水戸数	48,000 戸
② 年間総配水量	12,411,333 m ³
③ 1日平均配水量	33,911 m ³
④ 主要な建設改良事業 イ 送配水設備ほか改良事業	876,840 千円

(3) 主な事業

① 管路整備事業

老朽管対策として、耐用年数を超過した管及び漏水が多発する管について、優先的に布設替（単独工事）等を実施する。

② 水道施設更新事業

法定耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等を年次的に更新し、施設の健全化、市民への安定供給を図る。

③ 水道施設拡張事業

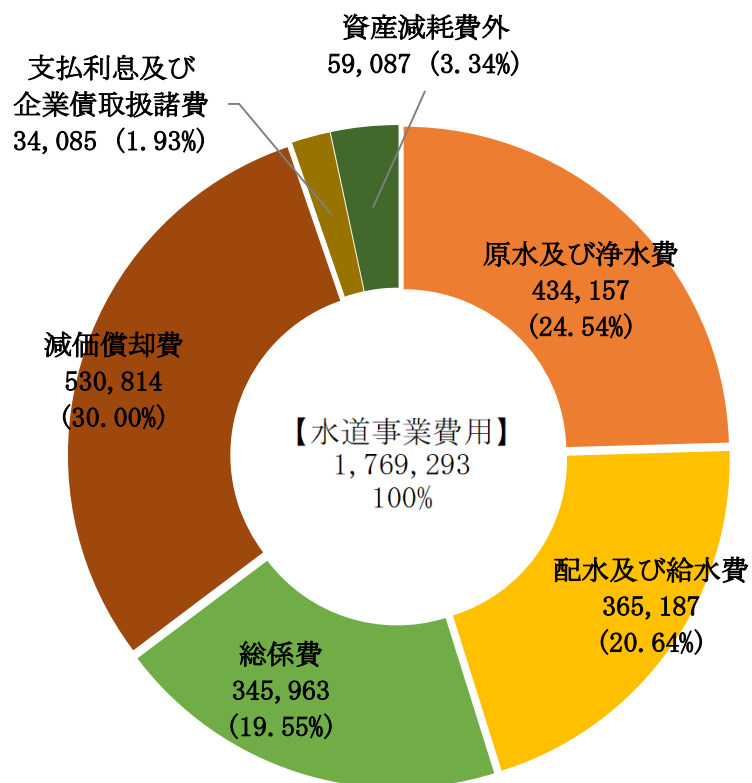
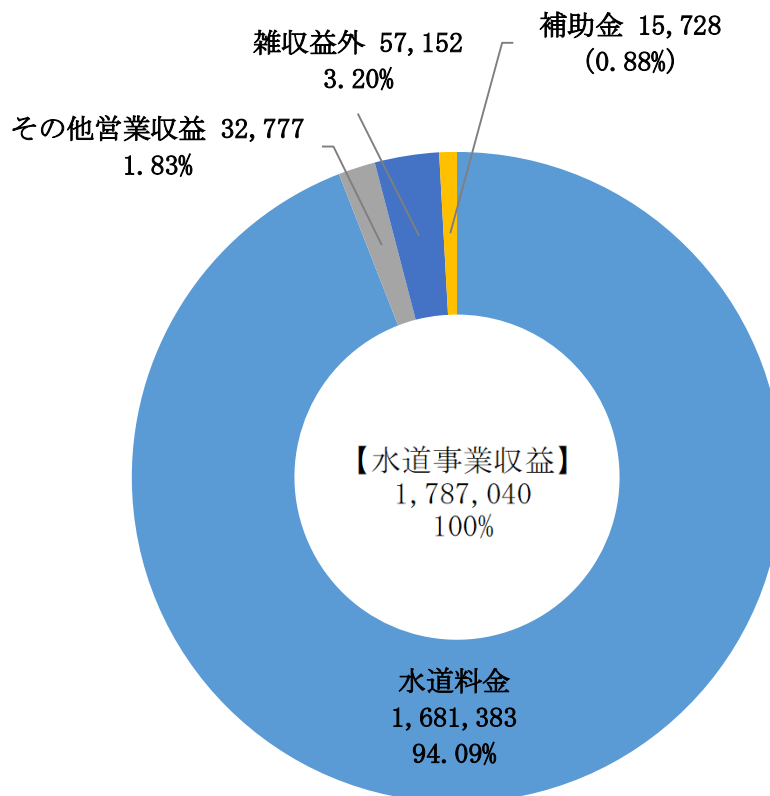
取水量減少による補完水源や水源開発のため、令和元年度から取り組んでいる生栗須地区の水源地整備において、実施設計及び本井戸掘削を実施する。

④ 流量計ボックス設置事業

輝北地区における漏水箇所を早期発見し、特定するため流量計ボックスを設置する。

(4) 収益的収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

